日本と世界を、文化でつなぐ。

JF

THE JAPAN
FOUNDATION

独立行政法人 **国際交流基金**

本部
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ
TEL 03-5369-6075　FAX 03-5369-6044
E-mail：jf-toiawase@jpf.go.jp　https://www.jpf.go.jp

日本語国際センター
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36
TEL 048-834-1180　https://www.jpf.go.jp/j/urawa/

関西国際センター
〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町 りんくうポート北3-14
TEL 072-490-2600　https://www.jpf.go.jp/j/kansai/

@thejapanfoundation

@japanfoundation

@TheJapanfoundation

@japanfoundation/

このパンフレットは、グリーン購入法に基づく特定調達品目の基準を満たした用紙（およびインキ）を使用しています。

日本と世界を、文化でつなぐ。



JF

THE JAPAN
FOUNDATION



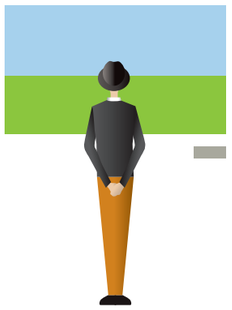


JAPANFOUNDATION 国際交流基金

— THE JAPAN FOUNDATION —

日本と世界を、文化でつなぐ。

国際交流基金（JF）は、「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」、「日本語教育」、「日本研究・国際対話」を通じて日本と世界をつなぐ独立行政法人です。





日本の文化・芸術で、世界をつなぐ。

芸術 ART

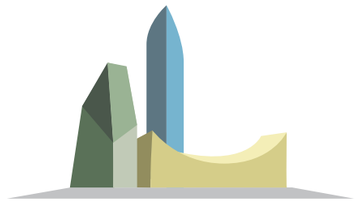
［ 文化芸術交流 ］

舞台公演の観客数	520,000 人以上※
美術展の来場者数	1,930,000 人以上※
日本映画上映の参加者数	230,000 人以上※

映画　演劇　音楽　ダンス　文学　美術　デザイン　建築

※2024年度実績





日本語教育のネットワークで、世界をつなぐ。

言語 LANGUAGE

［ 海外における日本語教育 ］

海外の日本語教師※1	80,000 人以上
海外の日本語学習者※1	4,000,000 人以上
日本語試験受験者数※2	1,630,000 人以上

日本語専門家や日本語パートナーズの海外派遣
海外日本語教師や学習者の研修
教材・eラーニング開発　日本語試験実施
世界各国の日本語教育機関調査

※1 2024年度海外日本語教育機関調査より
※2 2024年度日本語能力試験・JFT-Basic受験者数合計











日本研究や国際的な対話で、世界をつなぐ。

対話 DIALOGUE

［ 日本研究と国際対話 ］

海外の研究者等に対するフェローシップを供与した人数※1	累計	7,000 人以上
日米草の根交流コーディネーター派遣（JOI）を通じて交流した人数※2	累計	1,300,000 人以上

研究機関支援　研究者支援　研究者ネットワーク強化
次世代リーダー育成　市民交流

※1 1972～2024年度実績 日本研究者、文化芸術・日本語教育関係者、アジア文化交流事業として実施されたものを含む　※2 2003年度から2024年度実績





芸術

日本の文化・芸術で、世界をつなぐ。

映画・演劇・音楽・ダンス・文学・美術・デザイン・建築など、伝統芸能から現代アートまで、日本の文化・芸術を世界の各地へ。現地の映画館・劇場・美術館・ウェブサイトでの発信などを通じ、世界中の人々に魅力を届け、理解を深めています。



1　2　3

専門家の交流や、ネットワークの基盤づくりも。

俳優・ダンサー・美術家・作家・映画監督などのアーティストに加え、学芸員・芸術監督・プロデューサー・映画祭プログラマー・編集者・翻訳家といった、アート領域の専門家が出会う場も創出。国や地域を越えた専門家同士の交流や、共同制作・共同作業などを通じ、文化芸術交流の基盤になるネットワークを築くとともに、これからの担い手になる人材育成にも取り組んでいます。



近年の主な事業

ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展・建築展での日本館の運営
アフリカにおける日本映画特集上映　世界の文学祭に日本人作家を派遣

1　アジア・オムニバス映画製作シリーズ『アジア三面鏡2018：Journey』©2018 The Japan Foundation, All Rights Reserved.
2　村上春樹原作・蜷川幸雄演出『海辺のカフカ』フランス公演 ©KOS-CREA
3　第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館「ここに、建築は、可能か」（金獅子賞受賞）

世界をつないだ、日本の文化・芸術は？

国境を越えた文化・芸術を通じて、心に残る感動的な体験をされた人たちに、
そのときの感想やエピソードなどをお聞きしました。

日本映画上映

海外の映画館や国際映画祭での日本映画の上映や、
監督・批評家による講演会なども実施。





新海 誠さん
アニメーション監督（日本）

JF主催『すずめの戸締まり』インドプレミア上映会で、ファンと交流。

上映会を開催していただいたインドの観客は、非常に感情が豊かです。“We love Shinkai!”とストレートに言われるから、こちらも“I love you all!”と、日本ではとても言えないような返事をしてしまう。それが、とても心地いいのです。「新作を待っています！」「はい、その時はまた来ます！」インドの若い彼らと交わしたこういう約束を、これから先もできるかぎり重ねていきたいと思っています。

新海監督とは2回お会いし、心に残る言葉をいただきました。

インドで『天気の子』を上映してほしいという署名活動を16歳で開始。約6万人もの賛同者を集め、これを機にインド初訪問の新海誠監督とニューデリーで初めてお会いしました。JF主催の『すずめの戸締まり』プレミア上映会の際に再び監督とお会いし、「自分のルーツ・文化は、どこから来たのか決して忘れないように」という言葉が深く心に残りました。



ディヴィシュト・パンチョーリさん
アニメーター・京都芸術大学生（インド）



ⓒKOS-CREA

主催公演

日本の舞台芸術公演を、海外で披露。

600年にわたり継承されてきた狂言を、パリの劇場で披露。

JFが開催した『ジャポニスム2018』の一環として、パリ市立劇場にて三世代で「三番叟」を披露する機会をいただきました。歴史ある劇場で、言葉を超えた身体の祈りが、観客の皆さまと静かに響き合う。芸とは、時代や国境を越えて精神を伝える営みであり、出会いのなかで深められていくもの。JFは、その共鳴を重ねることにより、伝統を未来へと繋いでいく、尊い架け橋であると信じています。



ⓒ阿部 章仁

野村 萬斎さん
狂言師（日本）



マイケル・チェイスさん
パリ市立劇場
総務代表（フランス）

文化や時代を超えた共鳴を、JFは生み出し続けています。

日本のアーティストと国際的な舞台との貴重な対話の場を、JFは長年にわたり繋いできました。「ジャポニスム2018」のパリ市立劇場においても、野村萬斎氏とご家族が『三番叟』を上演したことが、今でも印象に残っています。世代を超えて受け継がれてきた古典芸能「狂言」を通して、身体と所作の表現によって、日本の伝統が現代の観客と響き合う力を持っていることを、私たちは実感しました。

言語

日本語教育のネットワークで、世界をつなぐ。

世界中の人たちが日本語を学んで、日本への理解を深められるように、日本語教育における専門家の派遣や、海外の日本語教師・専門家・学習者の研修、普及活動への支援、ネットワーク形成などを通して、質が高く安定した教育環境を整備。また、アジアの日本語学習支援のため、日本語パートナーズを派遣しています。









1



2



3

教授法の発信・教材の提供や、日本語試験の実施も。

日本語教授法の情報発信や、教材の開発・提供をはじめ、教師向け・学習者向けの日本語学習コンテンツも数多く用意。また、日本語学習者の能力を評価する試験の実施など、日本語教育のための幅広い事業に取り組んでいます。









近年の主な事業

日本語パートナーズ 累計4,000人以上派遣
日本語教材『いろどり 生活の日本語』20言語公開
「JFにほんごeラーニング みなと」203か国・地域 / 60万人突破

1 米国での若手日本語教員(J-LEAP)活動風景　2 教材『いろどり 生活の日本語』 3 関西国際センターでの東南アジア高校生日本語研修

世界をつないだ、日本語教育のネットワークは？

実際に海外での日本語教育を通じて、その後のキャリアに大きく影響を受けた人たちに、
そのときの感想やエピソードなどをお聞きしました。

日本語パートナーズ

アジアの中学校・高校等の日本語教師や生徒のパートナーとして、
日本語授業のサポートや日本文化の紹介を行う海外派遣制度。





荒木 雅子さん
日本語パートナーズ(日本)

なにも知らなかったベトナムを、新たな挑戦の場として選びました。

私の派遣先校のベトナムの高校生たちは、知的好奇心がとても高くて、日本語で毎日話しかけてくれることが嬉しいです。高いレベルで日本語を学んでいて、もっと勉強したいという真っ直ぐな気持ちを、いつも受け取っています。ニー先生など現地の日本語教師とのチームティーチングを、私自身も勉強しながら、日本や他の国々にも、ベトナムで日本語を学ぶ人たちのことをもっと伝えていきたいです。

母親が日本語教師で、高校から本格的に勉強しようと決めました。

日本語パートナーズの雅子さんが来てから、生徒たちは積極的に日本語を話すようになりました。ネイティブスピーカーと日本の文化に直接触れることで、学習への努力と自信も高まりました。雅子さんとのチームティーチングでは、生徒たちの発音やアクセントを積極的に直してくれて感謝しています。生徒たちには、この日本語学習を糧にして、日本語教師や通訳など、両国の友好関係に役立つ人になって欲しいです。



チャン・ザー・ニーさん
日本語教師(ベトナム)



海外日本語教師のための研修

海外の教育機関等の日本語教師を対象に、日本語・日本語教授法・
日本文化・日本事情についての研修を実施。

JFの研修中に作成した教科書を使って、大学で日本語を教えています。

日本語への興味は、マダガスカル語と発音が似ていたから。日本語教師になっても、漢字などの読解は難しかったですが、JFの日本語国際センターで海外日本語教師研修に3回ほど参加して上達できました。また、多くの国々の日本語教師とも友人になり、そのネットワークは今でも役立っています。これからの目標は、マダガスカルにおける日本語教育のレベルを、向上させていくことです。



ラクトマナナ・スルフニアイナ・アンビニンツアさん
アンタナナリボ大学
日本語教師(マダガスカル)



坪山 由美子さん
元・日本語国際センター
日本語教育専門員(日本)

マダガスカル日本語教師会も設立され、次は何をするのか楽しみです。

日本から遠く離れたマダガスカルに日本語教育を根付かせたい想いを、会うたびに語ってくれるラクトマナナさん。JFの研修には、母国を訪れる日本人向け観光ガイド用の日本語教科書の改訂と、音声教材の作成を目的に参加され、私はそのサポートをしました。2021年秋には、マダガスカルの日本語教育における功績が評価され、旭日小綬章を受章されたことを私としても嬉しく思っています。

対話

日本研究や国際的な対話で、世界をつなぐ。

世界の人々が日本をより身近に感じ、より深く理解できるよう、海外における日本研究を支援。世界各地の研究者ネットワークを強化し、日本に関する研究のさらなる発展へ。また、世界的な共通課題の解決に向けた、専門家同士の対話と協力を後押しするとともに、次世代を担う人材の育成に力を入れています。










1


2



研究者や大学への支援、多層的な対話の後押しも。

海外の研究者へのフェローシップや大学・研究機関への支援、専門家によるシンポジウムやセミナーを実施。さらに、研究者を目指す人材の育成や青少年による交流の機会、文化人・教育者・オピニオンリーダーによる対話の場を設けるなど、多様な立場の人たちが参加する、幅広い日本研究・対話事業を推進しています。







近年の主な事業

日本研究フェローセミナー　文芸対話プロジェクト“YOMU”
日ASEANユース・フォーラム（TASC）

1 ASEAN次世代専門家グループ招へい 宗教間対話　2 日本研究フェロー・カンファレンス
3 日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム

世界をつないだ、日本の研究や国際的な対話は？

実際に日本研究と国際対話を通じて、新たな視点や知見を分かち合う体験をされた人たちに、そのときの感想やエピソードなどをお聞きしました。

日本研究者へのフェローシップ

海外で日本について研究している研究者に対し、日本に滞在して研究や調査を実施するためのさまざまな奨学金を供与。





ロバート キャンベルさん
日本文学研究者
（アメリカ合衆国）

JFの助成で、日本文学を研究するために来日。

アメリカにいた私が、日本語と出会ったのは、カリフォルニア大学バークレー校・東アジア学科。そして、日本語を使ってどう生き、何を生業とするかを真剣に考え、日本文学の研究者になることを選びました。大学から、JFの助成で東京のアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで研究できるという知らせを受けたとき、大喜びで大学のキャンパスを走り回ったことを今でも覚えています。

ノーベル文学賞授与に際し、日本から寄せられた祝意に感謝。

JFのフェローシップを通じて京都で過ごした時間は、私の執筆活動においても深い印象を残しています。日本の文化に触れ、その空気のなかに身を置いた経験は、いまも息づいている創作の記憶です。今後、日本とハンガリーの文学が言葉を越えて出会い、相互に刺激し合う機会がさらに広がっていき、そして、文化を通じた対話が豊かに深まっていくことを心から期待しています。



クラスナホルカイ・ラースローさん
作家（ハンガリー）
ⓒLenke SZILÁGYI

JFIPPネットワーク・フェローシップ

インド太平洋地域における共通課題（気候変動・防災など）をテーマに、若手・中堅の専門家に研修・交流・ネットワーキングの機会を提供。



この経験は、いつまでも私の心に残り続けるでしょう。

このプログラムの第1期に参加し、心揺さぶられる災害の体験談から、インド太平洋各地の興味深い防災の取り組みまで、多くを学ぶことができました。10か国から集まった同期メンバーは常に温かな雰囲気で、さまざまな交流の場に各国の経験・活動・知見を惜しみなく共有してくれました。このプログラムを通じて出会った仲間と、これから一緒により良い未来をつくっていけることを楽しみにしています。



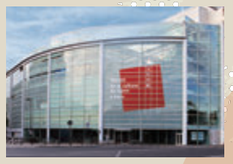
ナンシニ・サンバンサンさん
S. ラジャラトナム国際大学院（RSIS）シニアアナリスト
（シンガポール）



メリタ・トゥアリさん
テ・プナ・ヴァイ・マラマ クック諸島研究センター シニアリサーチフェロー
（クック諸島）

異文化協力が、新たな可能性を切り拓きます。

このプログラムを通じて、オセアニア内外での国際的な研究・政策協力に携わる貴重な機会を得ることができました。さまざまな状況や異なる国における災害管理の課題と実践的な解決策を、日本・オーストラリア・フィジー・トンガの4か国の現場で直接学んだことで、気候変動や環境変化が進む太平洋地域が直面する、喫緊の問題に対する理解を深めるきっかけにもなりました。これらの課題は、このプログラムが育んできた有意義な国際協力によって、解決に近づくと信じています。



フランス
パリ日本文化会館



ハンガリー
ブダペスト日本文化センター



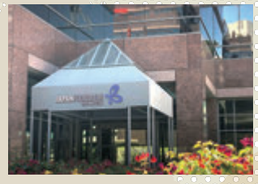
ドイツ
ケルン日本文化会館
©june ueno



中国
北京日本文化センター



東京本部
© Daisaku OOZU



米国
ロサンゼルス日本文化センター



米国
ニューヨーク日本文化センター



メキシコ
メキシコ日本文化センター

Europe Middle East Africa

欧州・中東・アフリカ



イタリア
ローマ日本文化会館



エジプト
カイロ日本文化センター

ローマ　（イタリア）
ケルン　（ドイツ）
パリ　（フランス）
ロンドン　（英国）
マドリード　（スペイン）
ブダペスト　（ハンガリー）
モスクワ　（ロシア）
カイロ　（エジプト）

Asia, Oceania

アジア・大洋州

東京　（日本）
埼玉　（日本）
大阪　（日本）
ソウル　（韓国）
北京　（中国）
ジャカルタ　（インドネシア）
プノンペン　（カンボジア）
バンコク　（タイ）
マニラ　（フィリピン）
ハノイ　（ベトナム）
クアラルンプール　（マレーシア）
ヤンゴン　（ミャンマー）
ビエンチャン　（ラオス）
ニューデリー　（インド）
シドニー　（オーストラリア）



オーストラリア
シドニー日本文化センター



マレーシア
クアラルンプール日本文化センター



インドネシア
ジャカルタ日本文化センター

Americas

米州



ブラジル
サンパウロ日本文化センター

トロント　（カナダ）
ニューヨーク　（米国）
ロサンゼルス　（米国）
メキシコシティ　（メキシコ）
サンパウロ　（ブラジル）
リマ　（ペルー）

JF Global Locations & History

世界全域にて活動

日本の本部、附属機関、25か国、26海外事務所。
現在では、アジア・大洋州・米州・欧州・中東・アフリカ全域にて活動を展開しています。

1972



国際交流基金（JF）設立

1973



国際交流基金賞創設

1976



ヴェネチア・ビエンナーレ日本館企画運営開始
©PEPPE MAISTO

1984



日本語能力試験（JLPT）開始

1985



国際交流基金地域交流振興賞（現・地球市民賞）創設

1989



日本語国際センター設置

1997



関西国際センター設置

2003



独立行政法人となる

2010



「JF日本語教育スタンダード」発表

2014



文化のWA（和・環・輪）プロジェクト開始

2018



ジャポニスム2018

2019



国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）開始

2024



次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－開始